

報道関係者各位

—川崎市市民ミュージアム 映像ホール 2019年3月の特集上映—

日本初公開フェミニズム SF カルト映画含む全 12 作を上映！

「3月女性史月間特集 Kawasaki FEMINIST FILM MONTH」

2019年3月2日(土)より川崎市市民ミュージアムにて開催！



『ボーン・イン・フレイムズ』Image Courtesy of Lizzie Borden and Anthology Film Archives, New York. Distributed by Cinenova.



『午後の網目』 ©Re:Vair Video

川崎市市民ミュージアムでは、3月2日(土)から映像ホールにて全6日間の特集上映「3月女性史月間特集 Kawasaki FEMINIST FILM MONTH」を開催します。

本特集では、ジェンダー間の平等と女性の権利と地位向上のために、1975年に国連により制定された3月8日の「国際女性デー」を祝し、映画史においてより豊かな映画表現を追求してきた女性作家を3つの特集に分けて紹介します。

1週目の特集は、ダンスや文化人類学的関心から映像における身体表現の追求を通して新たな表現方法を切り拓き、アメリカ実験映画に大きな影響を与えた**マヤ・デレン特集**。2週目は、インディペンデントな映画制作を通して、社会問題を前景化させた表現方法を模索した2人の監督に焦点を当てる、**アメリカ・インディペンデント映画特集**。最後の週は、ヌーヴェル・ヴァーグに先駆けて、従来の慣習に捉われない独創的な作品を発表し、現在も異彩を放つ存在であり続ける**アニエス・ヴァルダ特集**。60年代の代表作2作と後年の作品を併せて上映します。

特に、10年後の近未来ニューヨークを舞台に、ジェンダー、人種、階級を超えた様々な女性たちが連帯し、革命後もなお残る抑圧に対峙する姿がドキュメンタリータッチで描かれたSFカルト作品『ボーン・イン・フレイムズ』は、**今回が日本初公開**となります。

また、3月17日(日)の『ボーン・イン・フレイムズ』上映後には、明治学院大学文学部教授・映画研究家の齊藤綾子氏による「フェミニズム映画講座」を開催します。

◆上映作品(全12作品)

『午後の網目』(1943年) / 『陸地にて』(1944年) / 『カメラのための振付けの研究』(1945年) / 『変形された時間での儀礼』(1946年) / 『暴力についての瞑想』(1948年) / 『夜の深み』(1952-59年) / 『鏡の中のマヤ・デレン』(2001年) / 『ボーン・イン・フレイムズ』(1983年) ※日本初公開 / 『特権』(1990年) / 『5時から7時までのクレオ』(1961年) / 『幸福(しあわせ)』(1964年) / 『ジャック・ドゥミの少年期』(1991年)

PICK UP 『ボーン・イン・フレイムズ』 Born in Flames ※日本初公開



Image Courtesy of Lizzie Borden and Anthology Film Archives, New York. Distributed by Cinenova.

1983 年 / カラー / Blu-ray / 80 分

監督：リジー・ボーデン / 音楽：レッド・クレイオラ / 出演：ジーン・サターフィールド、アデル・バーティ、ハニー、キャスリン・ビグロー

社会民主主義によって起こされた解放革命から 10 年後の近未来ニューヨークを舞台にした SF カルト作品。海賊ラジオ放送の DJ や労働者など、ジェンダー、人種、階級を超えた様々な女性たちが連帯し、革命後もなお残る抑圧に対峙する姿をドキュメンタリー的手法で描く。

3 月 16 日 (土) 14:00、3 月 17 日 (日) 14:00 ★

★…上映後「フェミニズム映画講座」開講！ 講師：斉藤綾子（明治学院大学文学部教授・映画研究家）

《開催概要》

「3 月女性史月間特集 Kawasaki FEMINIST FILM MONTH」

日程：2019 年 3 月 2 日 (土) ～3 月 24 日 (日) の土日 11:00/14:00 (入替制/15 分前入場)

※ただし 3 月 9 日 (土)、3 月 10 日 (日) は休映

料金：1 プログラムにつき 一般 600 円、65 歳以上・大高生 500 円、小中学生 400 円

※未就学児・障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。

会場：川崎市市民ミュージアム 1F 映像ホール (全自由席/定員 270 名)

申込：当日 1F 総合案内で 10:00～15:00 までチケットを販売 (12:00～13:00 は販売休止)

※前売り券はありません。満席になり次第販売を終了します。

※65 歳以上・大学生・高校生・中学生、障害者手帳等をお持ちの方は、いずれも証明できるもの (原本) をお持ちください。

- 上映スケジュール詳細は別添のチラシまたは当館 HP (<https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/15843/>) をご確認ください。
- チラシに使用している画像はすべてご提供可能です。下記お問い合わせ先までご連絡ください。

＜川崎市市民ミュージアム 映像ホール＞



開館当初からコレクションしている戦後独立プロダクションの作品や海外作品などの収蔵品を活用し、上映会を定期的開催。日本の美術館・博物館では数少ない映画部門がある施設として、映画を収集・保存・上映しています。近年では貴重なフィルム上映に加え、2016 年には 4K 対応のデジタルシネマプロジェクターも導入。映画ファンから地元の方まで、心に残る劇場体験をお届けします。

＜川崎市市民ミュージアム 施設概要＞



多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて 1988 年 11 月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

■住所／〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力 1-2 (等々力緑地内)

■開館時間／9:30～17:00 (入場は閉館の 30 分前まで)

■休館日／月曜日 (休日の場合は開館)、祝日の翌日 (土日の場合は開館)、年末年始

■料金／入館・博物館展示室は無料。企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。

* 障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は企画展観覧無料。

* 20 名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス／

JR・東急「武蔵小杉」駅北口 1 番乗り場からバスで約 10 分 「市民ミュージアム前」下車すぐ

【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 滝口

TEL: 044-754-4500 (休館日を除く 9:30～17:00) FAX: 044-754-4533

MAIL: pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP: <http://www.kawasaki-museum.jp/> * 指定管理者: アクティオ・東急コミュニティー共同事業体